



2023年11月6日

各位

会社名 ヤマシンフィルタ株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員 山崎 敦彦  
(コード番号: 6240 東証プライム市場)  
問合せ先 取締役専務執行役員 井岡 周久  
(TEL. 045-680-1671)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年11月6日開催の取締役会において、2023年5月15日に開示した2024年3月期通期（2023年4月1日～2024年3月31日）の業績予想の修正を行うことを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 1. 2024年3月期 通期連結業績予想数値の修正

(2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	17,620	600	650	450	6.29円
今回修正予想 (B)	17,390	820	860	520	7.29円
増減額 (B-A)	△230	220	210	70	—
増減率 (%)	△1.3%	36.7%	32.3%	15.6%	—
(参考) 前期実績 (2023年3月期)	18,605	1,235	915	645	9.03円

(注) 2024年3月期為替レート 米ドル 145円 (前回見通し公表時 130円)  
ユーロ 155円 (前回見通し公表時 140円)

#### 2. 業績予想の修正理由

##### ① 建機用フィルタ事業

前回通期の業績見通しを公表した2023年5月15日時点と比較し、当第2四半期累計期間においては、中国を除く主要市場における需要は堅調に推移し、当社の売上高は想定を上回る水準で推移いたしました、しかしながら第3四半期以降、需要は全体では緩やかな減少傾向にあることから、売上高は前回公表値を下回る見通しであります。

一方、利益面では、得意先への価格転嫁の進展や、原材料コストの高騰や円安の進行によるコスト増加に対しての原価低減活動の効果等により、営業利益は前回公表値を上回る見通しであります。

また、当社は、グループ経営の効率化及び競争力強化を目的とし、北米拠点である連結子会社 YAMASHIN AMERICA INC. の事業構造改革を実施しております。この事業構造改革については、当事業

年度中に完了する見通しであります。当第3四半期以降、事業構造改革に伴う費用及び損失として約40,000千円の発生が見込まれ、第2四半期累計期間に発生した費用及び損失41,676千円と合わせ、事業構造改革費用として80,000千円を特別損失に計上しております。

以上を踏まえ、通期業績予想の修正を行います。

② エアフィルタ事業

主要製品である、ビル空調用フィルタの交換需要は回復傾向にあるものの、売上面ではセールスマックスの影響等により前回公表値を下回る見通しであります。一方、利益面では価格転嫁の実施や、生産効率の向上、経費削減効果により、営業利益は前回公表値と同程度が見込まれます。

以上を踏まえ、通期業績予想の修正を行います。

なお、2024年3月期の想定為替レートにつきましては、米ドル145円、ユーロ155円に変更いたします。今後、市場環境の変化が業績等に影響を与える場合には速やかに開示いたします。

3. 【ご参考】事業セグメント別の見通し（2023年4月1日～2024年3月31日）

（単位：百万円）

セグメント		前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)
売上高	内訳			
	合計	17,620	17,390	△230
	建機用フィルタ事業	14,820	14,710	△110
	エアフィルタ事業	2,800	2,680	△120
営業利益	内訳			
	合計	600	820	220
	建機用フィルタ事業	510	730	220
	エアフィルタ事業	90	90	—

以上